

ともに

10

2021年
春号

特 集

大阪府がん診療拠点病院

専門医による早期発見・早期治療
市民病院の消化器外科

ダヴィンチ X
サージカルシステム
ロボット支援下手術に使用

市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「ともに」を通じて市民の皆さまにお伝えいたします。

市立吹田市民病院では、

院内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する取り組みを行っています。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

職員感染管理の徹底

- 全職員が通勤時および勤務中にマスクを装着し、手指衛生を徹底しています。
- 診察・処置を行う際は飛沫などの感染性物質による感染(曝露)を防止するために防護具を装着しています。
(アイシールド・フェイスシールド・手袋・エプロンなど)
- 全職員が毎日検温を行い、申告をしています。体調管理にも十分に留意し、職員やその家族の健康観察を行うよう指導監督しています。
- 職員およびその家族に発熱・呼吸器症状があった場合、新型コロナウイルス感染症が否定されるまで出勤停止としています。



サーモモニターによる体温測定



外来エリアでの取り組み

発熱や咳などの呼吸器症状がある方は、別のエリアで受付と問診を行い、他の患者さまと交差しない取り組みを行っています。

- 外来受診をされる患者さまは、2階受付でサーモモニター(写真)による体温測定を行っています。発熱を認めた場合、咳・味覚障害の症状がある方は、別エリアで問診・診療を行います。
- 総合受付・総合案内・各外来ブロック受付等には飛沫感染防止シートを設置しています。
- 通常の清掃に加え、多くの方が触れる場所は定期的に消毒作業を行っています。

ご来院の皆さまへのお願い

- 新型コロナウイルス感染症患者との接触がある場合や、発熱・倦怠感・呼吸器症状・味覚障害・嗅覚障害のある方は、来院前にまず電話でのお問い合わせをお願いします。

【TEL: 06-6387-3311 (代表)】

- 来院時は、マスクの着用と手指消毒を必ず行ってください。

(2021年3月時点)

■ 広報誌「ともに」にご意見がある方は市立吹田市民病院までご連絡ください。

編集発行 地方独立行政法人 市立吹田市民病院 広報委員会 〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号
TEL 06・6387・3311 FAX 06・6380・5825
ホームページ <https://www.suitamhp.osaka.jp> メールアドレス shomu@mhp.suita.osaka.jp

2020年4月より市立吹田市民病院に赴任した矢野雅彦と申します。前任地の大阪国際がんセンターも含めてこれまでずっと食道がんの外科治療に携わってきました。理事長職ではありますが、消化器外科の一員として実診療にも携わっています。

さて、市民病院の消化器外科に求められるものは、腹部救急疾患に対する迅速・的確な対応と消化器がんに対する安全・安心で、良質な外科治療と考えています。

最近のがん診療においては、外科手術だけでなく内視鏡治療や抗がん剤治療、放射線治療、免疫療法など総合力が必要です。「大阪府がん診療拠点病院」として、院内の他診療科や近隣の他施設とも連携しながら、その責務を果たして参りたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器外科 矢野雅彦（理事長）

我が国の高齢化が進むにつれ、「消化器がん」の発生数も概ね増加傾向が続いています。また、高齢の方や子どもによくみられるヘルニア(脱腸)、年齢を問わず急性発症を起こす虫垂炎(盲腸)、イレウス(腸閉塞)などで消化器外科の手術を必要とする疾患も多いです。

市立吹田市民病院の消化器外科には上部消化管(食道・胃)、下部消化管(小腸・大腸)、肝胆膵(肝臓、胆道・胆のう、膵臓)と各分野別の専門医が多く揃っており、他診療科・スタッフとの連携により迅速かつ安全・安心な治療を行っています。

消化器がんやヘルニア、虫垂炎、イレウスは早期発見・早期治療が重要です。当院は十分な感染症対策の下、安全で質の高い医療を提供しています。どうぞ安心して当院消化器外科をご受診ください。

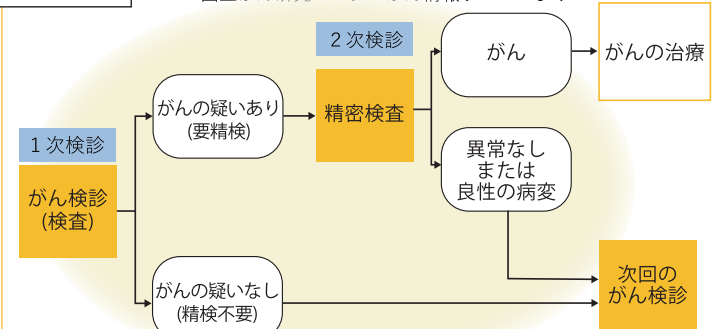


手術前カンファレンスから全力で臨む

消化器カンファレンスで医師、薬剤師、看護師が集まり、患者さまの病状・検査結果・投薬状況など全体像を把握し、情報を共有します。さらに、治療方針や手術の手技を確認し、手術をより安全に迅速・的確に行えるようにしています。

がん検診の流れ

国立がん研究センターがん情報サービスより



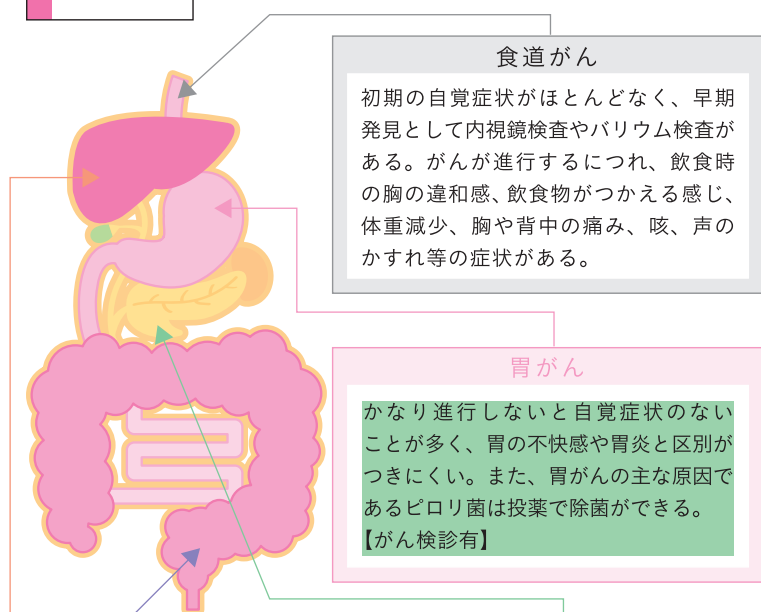
市民病院では胃がん検診は1次検診より、大腸がん検診は2次検診よりお受けしております。

胃がん検診 ※令和2年1月より	内視鏡検査 ※胃部エックス線検査選択可	満50歳以上
大腸がん検診	便潜血反応検査	満40歳以上

詳細はこちら
(吹田市がん検診のご案内)



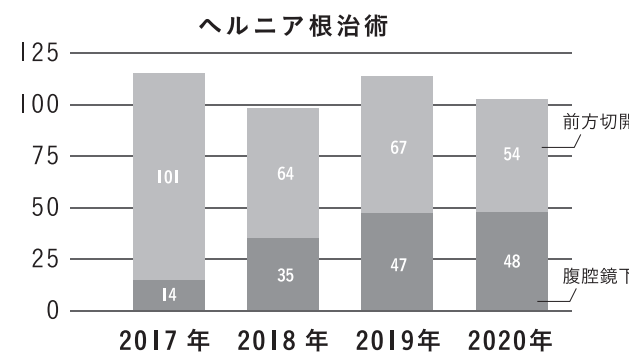
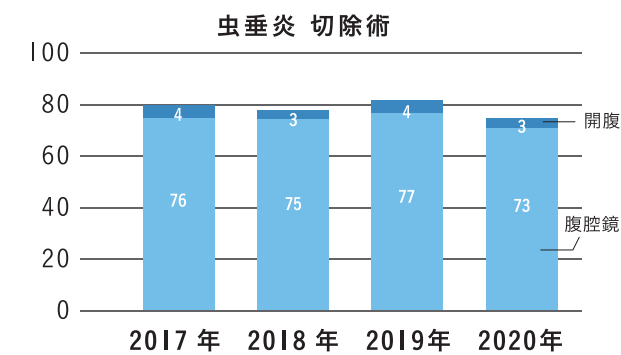
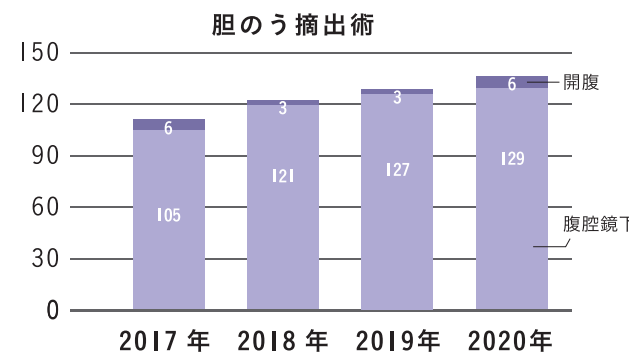
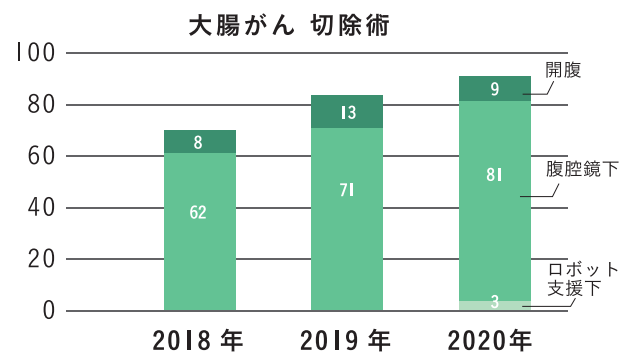
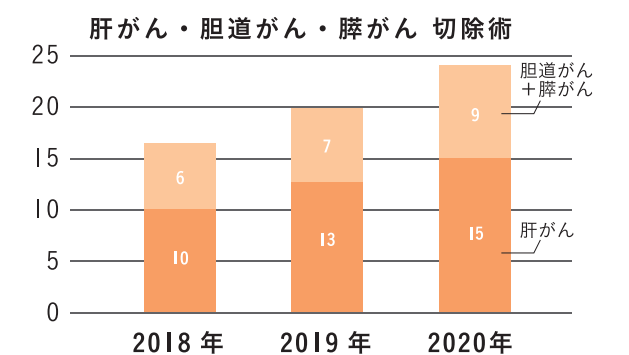
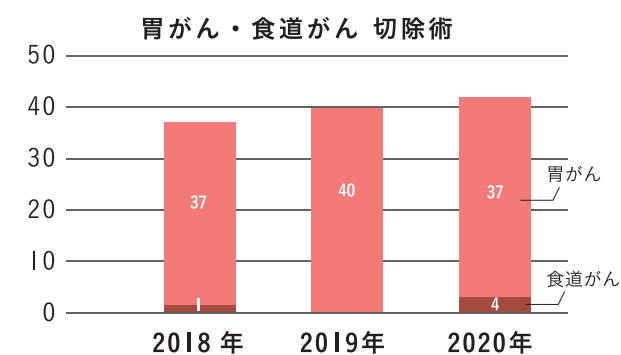
消化器がん(悪性腫瘍)



当院の消化器外科手術件数

2018年12月新病院への移転後、当院消化器外科の手術件数は着実に増えています

- ・**難治がん手術**が増えています：食道がん、肝がん・胆道がん・膵がん
- ・**腹腔鏡下手術**が増えています：大腸がん、胆のう摘出、ヘルニア



2020年秋より直腸がん切除術にロボット支援下手術を導入しました。

ロボット支援下手術は、最先端技術を搭載した「ダヴィンチX・サージカルシステム」を使用して行います。その特徴として、

- ① 3Dカメラによる立体視・拡大視
- ② 術者操作のカメラ移動による安定した視野
- ③ 鉗子の多関節機能・手振れ防止機能
などがあり、緻密で繊細な手術が可能になります。

